

## 院内の省エネへの取り組みについて

佐々木 成利（施設課）

最大ピーク電力削減に向け

**節電**を  
**実施中**です

独自の目標削減率 5%へ

今年3月11日に発生した東北関東大震災は東北地方の方々に甚大な被害をもたらしたほかに首都圏で生活する我々にも大きな影響を与えました。この地震で東京電力管内の原子力発電所と複数の火力発電所が運転を停止しました。また、この影響により首都圏に必要な電力4,100万キロワットに対して3,100万キロワットしか供給できない非常事態となりました。そしてこの緊急事態を受けて実施されたのが我々の記憶に新しい計画停電です。停電する地域を分けて順番に停電するものでした。これは4月に一旦終了しましたが、問題は夏場の電力ピークにあります。

経済産業省は電気の大口需要の事業所に対し6月1日に電気事業法による電気の使用制限を通知しました。それは、7月から9月の終わりにかけて今年の最大電力使用量から15%を削減したものを使用電力の上限とする大変厳しいものでした。ただし、適用除外として、生命・身体の安全確保に不可欠な施設（病院・上下水道等）の削減率は0%となりました。当病院はこれに含まれません。

しかしこれにはまだ問題が残されているのです。削減率は0%なもの、今年の最大使用量を上回るとは許されてはいません。この制限を超えた場合、罰金が課される場合もあるのです。

また、削減率が除外された病院に対し、厚生労働省から各病院独自の目標削減率を設定し、それを公表するとともに目標の達成に向けて努力するよう指導がありました。

当院では、この独自の削減率を5%と定め、その達成のため様々な対策を実施しています。

### 「節電は一人ひとりの心がけ」

我々は患者さまの安全を最優先したうえで、更なるエネルギーの管理を行う必要性を感じました。ただし、エネルギーは院内のあらゆる場所で使用されているため限られた人数の電気設備担当者だけで管理していくのは容易なことではありません。電気設備担当者だけがエネルギー管理意識を持っていても全職員に同じような意識がなければエネルギーの無駄遣いを防ぎきることは非常に困難です。

そこで我々はこの問題に立ち向かうため、各部署から代表者に参加していただき、エネルギー管理を職員全員が共有するテーマとしました。そしてエネルギー管理の推進を担う集団「エネルギー管理チーム」が発足しました。各部署の代表者からそれぞれのアイデアを出し合い、ただいま活発に活動しています。

#### ●蛍光灯の数を節約しました。

必要な箇所の蛍光灯は確保しつつ、節約できる箇所は蛍光灯をはずしました。

#### ●エスカレータの運転時間を見直しました。

患者さまが多く使用していただく時間だけ運転することで、効率化を図りました。

#### ●扇風機を活用しています。

職員だけの部屋はエアコンを節約しています。

今後はさらなるアイデアがエネルギー管理チームから出てくると思います。チーム員も情熱を持って取り組んでいますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



エネルギー管理チームの会議風景